



鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

<http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。ブック
マークに登録を！

ニュース

No. 44

2015年8月10日

第9回県連会総会 記念講演会に135名！（59クラブ） 学童指導員の「専門性」って、何？…永松範子さんが熱く語る！

学童保育議員連の野間たけし衆院議員が来ひんあいさつ

県議会の子育て議員連の田中・郷原・柳県議も

第9回県連協会の総会は、鹿児島市の「県青少年会館」にて29クラブ65名参加をいただき開催しました。

超党派の学童議員連野間たけし衆議院議員が来ひんとして、子育て「新制度」での学童保育の充実（制度や財源の確保等）に向け、国政をはじめ地元と連携をとりながら進めていくとなど、県連の活動への激励をいただきました。

また、鹿児島県議会の子育て議員連から、薩摩川内市選出の田中良二県議、鹿屋市区選出の郷原拓男県議、鹿児島市区選出の柳誠子県議の出席をいただきました。

■子育て「新制度」の自治体ごとの検証を！

総会では、市町村において新制度導入後どのような動きがあり、子ども会議に学童保育の改善—学童保育のあるべき姿—を働きかけていくこと、市町村の責務を明確にすること、資格研修制度への関わりなど県連協の活動の充実だけではなく、地域連協の活動・地域連協づくりを確認しました。

■記念講演は、指導員の専門性と資格…永松範子さん

20年近く横浜市の学童保育指導員としての経験豊かな永松さんの講演では、新制度で放課後児童支援員がどうあるべきか体験と毎日の実践から、普段の学童の姿がかいま見えるお話しで、たくさんの「ゲンキ」をいただきました。

レジメの抜粋を下記に掲載しています。

（参加者のアンケートは次ページ掲載しました。）



鹿児島県児童クラブ連絡協議会役員

会 長	加来 宗暁	高陵寺児童クラブ	始良・伊佐
副 会 長	畠中 親徳	高山児童クラブ	肝属
	甲斐崎 中	学童寺子屋クラブ	曾於
	小牧 利明	黒木わいわいクラブ	北薩
事務局長	続 博治	宮内児童クラブ	始良・伊佐
事務局次長	有川 文人	寿学童育成クラブ	肝属
	中村 雅之	根占学童ひまわりクラブ	肝属
会 計	田間美沙緒	青葉児童クラブ	始良・伊佐

運営委員に奄美地域連協から川内さん、また指導員代表をおおすみ・北薩・霧島地域連協から選出することが決まりました。

■記念講演

講師：永松 範子（ながまつ のりこ）さん／神奈川県横須賀市指導員

テーマ：学童保育指導員の専門性と資格～子どもの心に寄り添い、働く親を支える学童保育指導員とは？～

5、放課後児童支援員等（指導員）の仕事・役割

- ◎子どもが自ら進んで学童保育に通い続けられるように援助する。
- ◎子どもの出欠席と心身の状態を把握して、適切に援助する。
- ◎子ども自身が見通しをもって、主体的に過ごせるようにする。
- ◎学童保育での生活を通して、日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるようにする。
- ◎子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるようにする。
- ◎子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助し、学童保育の生活に主体的に関わることができるようにする。
- ◎おやつを適切に提供する。
- ◎子どもが安全に安心して過ごせることができるように環境を整備し、緊急時に適切な対応ができるようにする。
- ◎学童保育での子どもの様子を、保護者と日常的に伝え合い、家庭と連携して保育を行う。

6、放課後児童支援員等（指導員）に求められる姿勢

- ◎子どもの身近にいて、子どもが安心して頼ることのできる存在になれるように心がける。
- ◎子どもの発達の特徴や成長過程を理解し、発達の個人差を踏まえて一人ひとりの心身の状態を把握しながら保育する。
- ◎保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事を両立できるよ

うに支援する。

- ◎仕事を進める上での「倫理」を自覚し、保育の内容向上に努める。

7、「専門性」って、そもそも何だろう？

- ◎専門家は、過去の古い知識だけでは仕事は続けられない。
- ◎自分の仕事の持つ意味（学童保育の役割）が理解できているかを振り返る。
- ◎保育の実践を、自分の言葉で語れるように努力しよう。
- ◎保育の実践を通して、この仕事を確立すること。
- ◎大人にとって都合のよいルールで子どもを管理しない。
- ◎子どもを真ん中に、情報共有しながらチームを組んで仕事をする職場に。

8、学び続けることが、子どもの前に立つ「資格」

- ◎研修は、現場に活かしてこそ意味がある。考えるだけでなく、実行して初めて仕事になる。
- ◎放課後児童支援員等（学童保育指導員）は、豊かな人間性と倫理観を備え、常に自己研鑽に励みながら必要な知識及び技能をもって保育に当たる役割を担う。
- ◎資格認定研修を受けたのちも、学び続ける指導員に・・・

② 【鹿県児童クラブ連絡会 第9回総会記念講演会永松範子講演会 アンケート】

- ・市町村名 鹿薩摩川内市（10） 鹿屋市（4） 霧島市（27） 日置市（5） 始良市（7） 指宿市（2）
いちき串木野市（4） 肝付町（1） 志布志市（2） 曾於市（2） 出水市（4）
垂水市（2） 南九州市（1） 揖宿市（2） 不明（2）
- ・初めて参加した（27） 参加したことがある（45）
- ・指導員（42） 保護者（5） 設置者（5） その他（保育士3 その他5）

■記念講演（永松範子さんの講演） は、いかがでしたか？

- ・先生のお話を聞かせていただくのは2回目でしたが、どのエピソードも指導員としての心がまえも共感できる事ばかりでした。また、このお話を思い返しなが、日々の保育に努めたいと思います。
- ・専門家としての手だてを考え合いながら、やっていくことに納得することでした。
- ・自分たちの児童クラブでも同じような事例があり、うなずく場面がありました。楽しいお話をたくさん聞くことができて、参加して良かったです。
- ・経験談も交えたお話しが、指導員としての振る舞い方を改めて考えさせられました。
- ・一番身近な場面からのお話を聞きながら、今の自分を振り返り、楽しく勉強させていただきまされた。子ども同士仲間で育ち合う中で、見守りながら支援できるように頑張りたいと思います。
- ・要点を資料にまとめていただいた上、それに添ったお話しを組み立てがされていたため、とても聞きやすかったです。事例等具体的なイメージの沸きやすいお話しも交えていただき、講演会という形でありましたが、活きた研修の時間を過ごさせていただきまされた。
- ・学童の普段の姿がみえてくる内容で、とても参考になりました。（自分だけが悩んでいるんじゃない…と感じました）
- ・先生の実践をふまえたお話しが聞けて、とても勉強になりました。共感するところがあったり、学ぶことがあったり、明日からの仕事に生かしていこうと思います。
- ・現場にすぐ役立てるお話しが多く、とても勉強になりました。もっと指導員会を開き、子ども一人ひとりの対応を考えていきたいと思ひます。
- ・実践にいかした講演ですごく楽しかった。すぐ明日から活かせる、参考になります。
- ・今回講演会に参加したのは初めてでしたが、とても良い勉強になりました。はっと気づかされる事も多く、現場に帰って早速実践したいと思ひます。

- ・毎日の実践にそった話の内容で、わかりやく元気の出る講演でした。
- ・とても参考になりました。学童クラブと一緒に日々の生活を楽しむことだという意見に共感しました。指導、管理、禁止をするところではないということ。
- ・とても心が軽くなりました。まだ、まだ2年目ということで、学ぶことが多くとても勉強になりました。
- ・毎回楽しみにしています。今回も、実践の話なのでためになりました。明日からの保育に役立てたいと思ひます。
- ・保育実践のことを聞かせていただきまされたが、実践の話が一番わかりやすいし、若手に一番心に響きます。（今まで、様々な講演会に参加しているなかで）永松先生の声、話し方、内容、とても聞きやすかったです。
- ・とても明るく、永松先生の子どもたちへの愛情がとても感じられるお話しでした。子どもたちも、安心して学童に通っているのだらうかと、感じました。一度、保育の様子をうかがってみたいと思ひるほど、楽しいエピソードでした。
- ・あっという間に時間が過ぎていました。日々の生活（学童クラブ）に役立つ話や抱えている問題についての解決策のヒント等、沢山ありとても勉強になりました。明日からの子どもたちのかわりの中で役立てていこうと思ひます。有り難うございました。
- ・バイタリティーあふれる先生のお話し、とても楽しく考えさせられる内容も多く、全てを伝えることは難しいですが、同僚にも話しを伝えようと思ひます。
- ・毎日バタバタする中での学童保育ですが、これまで自分なりにとりくんできました。永松先生のお話しひとつひとつが「そうそう、そんなことある！！」「そうそう。」と同感したり、反省したりとものすごくわかりやすかったです。明日から、日々、楽しい学童保育をめざし、悩み、話し合い、とりくみたいと思ひます。
- ・わかりやすく、楽しい話しでした。

- ・具体的なお話しが多く、とても興味深く聞くことができました。日々の自分の仕事の姿も、改めて振り返ることができました。ありがとうございます。
- ・毎日の実体験を交えて、指導員としての考え方やあり方等をお話ししていただいたので、自分に置き換えて話しが聴けたのであつという間だった。ハッとしたり、同じだなと思うことで、これで良い（というのは少し違うが）と自信になりました（反面、モレツに反省もした）。
- ・講演会、とても勉強になりました。自分の指導員（支援員）として、改めて反省させられることが多かったです。子どもたちが、学童に楽しく帰ってこられるよう、また楽しく過ごすことができるよう、これからも勉強していきたいと思います。
- ・楽しく眠らずに最後まで拝聴しました。私は、小・中学校で長年勤務して、2年前に学童に出会いました。他の指導員は無資格者ばかりで研修意欲は……？ 8年も勤務して、保育の資格をとる努力もしていない主任ほか、少しあせります。
- ・実践に基づくお話し、うなづいたり、ドキッと反省させられたりしました。指導員ではなく支援員という言葉の意味をよく考えつつ、今後の仕事に生かせたらいいと思ひます。
- ・日頃の指導員としての実践をたくさんお聞きし、うなづくことばかりでした。子どもをはさんでの保護者との関わり方、子どもたちの関係、自然体で色々感じ、自分の思いも声に出して、明日からがんばろうと思ひました。
- ・具体的エピソードを交えてのお話しが、とても楽しくて参考になりました。
- ・事例を交えながらのお話し、とてもわかりやすく「うんうん そうそう」と思うことがたくさんありました。
- ・専門性を高めるため、学びが大切だと実感しました。研修会、講演会にもこれから参加したいと思ひます。今日、聴くことができてよかったです。ありがとうございます。



〈テーマ〉学童指導員の「専門性」って、何？

考えるだけでなく、自分のことばで語り、実践・実行すること！

- ・前回とても勉強になったので、今日は楽しみに参加しました。すごく良かったです。
- ・ご自分の体験をもとに進められたお話しで、とても興味深く聞くことができました。
- ・現場のはなしが多く大変参考になった。
- ・長年の経験の話しが聞けて、参考になりました。子どもの叱り方や関係、保護者との連携など考えさせられました。
- ・永松先生のお話の中には、私たちのクラブの中にも日常ある場面でした。片づけが出来ていないと「はい、没収」です。でも、子どもたちは没収された物、なきやないで違う遊びをするんですよ。困った場面、決めごとは、子どもたちと良く話し合うことにしたいと思います。
- ・なんとなくルールだから、していることが多く、しっかり考えたことがなかったなと思いました。実践を通して気づいたことが聞けて良かったです。
- ・共感できる部分が多く、終始、関心を持って聞かせていただきました。
- ・指導員としての役割や子どもたちとの接し方など勉強になりました。
- ・とても大切なお話しをしてくださり、ありがとうございます。先生のお話を聞いて、一人ひとり子どもを見守るって言う言葉がすごく心に残りました。私も全体はみるけど、一人ひとりとこのことを頭の中に入れながら、支援していきたいと思います。
- ・同じ指導員の立場で話してくださり、心に残ることが多くて、こうすればよかったと思うことが多かったです。父子家庭の話は、先生ならではの、心に伝わって、指導員とは何？ ということの答えが出てきて、共感しました。
- ・現場での実例を用いてくださっていて、とてもわかりやすい内容でした。とにかく、ずっと学んでいくことが、とても大切だと事だと改め感じました。学んだことをみんなとシェアできるように、自分なりの言葉で伝えてみたいです。
- ・学童保育で必要なことを現場のリアルな目線から話してくれたので、勉強になった。とても素敵な講義でした。また一つモチベーションが上がりました。

- ・支援員として心がけを改めて理解することができました。日々子どもと向き合い、日々勉強して保育の内容を向上させていくことの重要性を教えてくださいました。とても充実した研修（勉強会）となりました。
- ・経験豊富な話しが聞けた。子どもとの過ごすことの重要性を認識した。
- ・実践したことからの話しでわかりやすかった。子どもの生活の基盤や何を考えて支援すればいいのか、考えるものになった。
- ・体験談をお聞きしましたが、なかなかそこまで出来ないなと感じました。
- ・自分の保育のあり方をもう一度振り返ってみようと思いました。聞かせていただけて良かったです。
- ・とても元気があり、わかりやすい講演でした。現場での体験のお話しなど、今、私が対面している現実にとっても参考になりました。

■講演で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・考えるということ。
- ・講演の終盤で先生が指導員になりたての頃の話聞いて、自分もいま、子どもの目標達成にやっきになったり、けんかの仲裁などばかりになっています。先生のお話を思い出しながら、子どもと向き合えるようになりたいです。
- ・指導員同士の話し合いは大切ですね！
- ・子どもの管理員であってはならない！ということを感じるところが大きかったです。
- ・研修は、現場に活かしてこそ意味があり、実行して初めて仕事になる。
- ・いろんな意味で実行あるのみと思いました。
- ・指導、管理するのではなく、支援という観点からの子どもたちへの見守り。ルールや伝統をただ作り、守っていくのではなく、子どもたちの目線も含めて、意味や理由を考えることの必要性。現状の課題であると感じました。
- ・分かっていても大人の都合で子どもを管理してしまうので、子どもに寄り添うことが大事ということを再確認しました。
- ・支援員とは、子どもが安心してたよることのできる存在だということ。

- ・学び続けることが、子どもの前に立つ「資格」
- ・指導員のコミュニケーションが大切だと思いました。
- ・毎日の支援生活でまず自分が楽しみ、型にとらわれず、目線を合わず、叱るときは叱ってよし！！
- ・学童保育運営指針を見て、指導員同士で自己評価し合うという話を聞いて、自分も自己評価してみようと思いました。
- ・支援員のチームワークの大切さ。また、子どもの困った事への手だてなど、実践していくことの大切さを感じました。実践こそ、保育が生きていくことを学びました。力強い、信頼される支援員となるよう努力していきたいと思う。
- ・指導員の姿は、子どもに見られている、私たちの言動が子どもに影響を与えていること、キモにめいじて毎日の仕事にがんばってきたい。
- ・私たちは「管理人」ではない、ということ。「input」するだけではいけない、「output」することが大切だ、ということ。「クレーム」は考え直す、見直すチャンスなんだということ。
- ・ピンチにおちいった時（保護者が）頼るのは親でも、学校でも児童相談所でもなく、学童保育の指導員だという話しは、この仕事の重要性を改めて知るきっかけになりました。
- ・どういう原因でそうなったのか、その原因にはたらきかける、大切なことだと思います。心に留めておきます。
- ・私たちは管理人ではない。子どもに保護者に、一人の人としてきちんとむかいあって、心と脳を使ってかわりあっていくことが大切だと思いました。
- ・大人にとって都合のよいルールで、子どもを管理などしないようにする。子どもたちがクラブでの居場所をみつめてあげる。
- ・子どもが安心して頼ることのできる存在になれるよう心がけるということを大切にしていきたいと思います。自分のことを分かってくれる人がいるということが大切だと、話されたことです。専門性を高めて行けるように、学習、実践していきたいと思っています。



第40回全国学童保育指導員学校(2015年9月27日)

九州会場の申し込みは、鹿児島県連協を通じてお願いします!

開催要項と申込用紙を同封しましたので、必要事項をご記入の上、県連事務局へ

●とき 2015年9月27日(日) 午前10時30分~午後4時30分

●ところ 福岡県春日市・クローバープラザ

●日程 10:00 10:30 12:30 13:30 16:30

受付 全体会 昼食 講座

●受講料 2000円(弁当代700円・必要な人のみ)

※全体会・講座等の詳細内容は、同封の「開催要項」をご覧ください。

【全国指導員学校・九州会場 申し込み方法】

今年も、福岡県連協の事務手続きを軽減するために、研修会参加者の申し込み手続きは、それぞれの県連協で行うことになりました。

◆鹿児島県からの参加者は、必要事項を記入の上、控えのコピーを県連協事務局へ郵送、またはFAXしてください。

1. 受講料(2000円)と弁当代(700円・必要な方)を下記郵便局の口座へ振り込む。

郵便局の口座番号 記号 17810

番号 29171871

口座名 鹿児島県児童クラブ連絡協議会

2. 振り込みの控えと参加申込書を郵送またはFAXする。

住所: 〒899-4301 霧島市国分重久2105-1

青葉児童クラブ内

鹿児島県児童クラブ連絡協議会

TEL/FAX 0995-45-7800

県連を通しての申し込み期限

◆申し込み締め切り 2015年9月5日

県連協で一括集約(入金と申込書の確認後)をし、福岡県連協に申し込みします。

受講票は、指導員学校当日の9月27日会場受付(鹿児島県連協受付場所)にてお渡しします。その際、申込み控えコピーをお持ち下さい。(受講票は、領収書を兼ねます。)

※当日参加も可能ですが、ご希望の講座を受講できない場合があります。可能な限り、事前の申込み手続きをお願いします。

第40回 全国学童保育指導員学校 九州会場 全体会

●基調報告 福岡県学童保育連絡協議会

●全体講義

「心の器—今どきの子ども・若者「こころ」事情」

講師: 山喜 高秀

(志学館大学)



【プロフィール】

1960年生まれ。志学館大学大学院教授。専門分野は児童・思春期心理治療の臨床心理学、発達臨床心理学。大学では、「こころの健康(ストレスとその対処)」、「発達障害心理学(自閉症や学習障害などについての概論)」、臨床心理養成のための大学院での講義・指導を行う。

地域連協の活動紹介

おおすみ学童保育の会・鹿屋市学童保育連絡会 夏休み 児童スポーツ交流会の開催

◆日時 2015年8月20日(木) 午前10時~午後1時

◆会場 鹿屋市「串良平和アリーナ」(TEL 0994-31-4500)

◆内容 ドッジボール交流会

◆参加費 各クラブ2000円(会場使用料・各クラブ集合写真代)

◆参加申込 8月12日までに事務局へ

【問合せ】TEL 0994-40-0963 FAX 0994-40-0961

鹿屋市学童保育連絡会主催

'15 発達障がい学習会(学童期)

学童期における発達障がいの特徴やその対処方法について、本年度は4回講座で学び合う場です。なお、最終回は公開講座とし、講師に白石正久先生(龍谷大学教授)をお招きします。

●日程	時間: 午前10時~12時	
開催日	内容	講師(助言者)
9月9日(水)	発達障がいとは (LD, AD/HD, 自閉症の理解)	依頼中
10月7日(水)	障がいのある子どもの受け入れと生活づくり(事例報告に基づいて実践交流)	木村恵子先生(学童保育うと園長) 江之口博行先生(肝属地区障がい者総合支援センター相談支援専門員)
11月11日(水)	障がいの特徴と対処方法、リハビリテーションの実際	田中美保先生(福田病院医師)
12月13日(日) 公開講座	子どもの発達を知る(仮題)	白石正久先生(龍谷大学教授)

●場所 鹿屋東地区学習センター学習室と集会室(鹿屋市新川町)

●申込み 9月3日(木)まで TEL 0994-41-2568 (寿学童育成クラブ内)

第50回全国学童保育研究集会 in 大阪 参加確認についてのお願い

開催パンフと申込用紙を同封しましたので、必要事項をご記入の上、県連事務局へ

県連を通しての申し込み締め切り

2015年8月31日(月)までに
FAX 0995(45)7800

第50回 全国学童保育研究集会 in 大阪

2015年11月7日(土) 全体会 なみはやドーム(大阪府立門真スポーツセンター)(門真市)
11月8日(日) 分科会 大阪市立大学 杉本キャンパス(大阪市)

全体会 11月7日(土) 13:00~16:45 なみはやドーム(大阪府立門真スポーツセンター)

12:00 受付開始
13:50~14:20 基調報告
14:20~15:05 特別報告
15:20~16:40 記念講演13:00~13:30 歓迎行事
全国学童保育連絡協議会
13:30~13:50 開会行事「人が人のなかで生きていくということ」
——子どもも大人も生きやすい社会とは
中西新太郎(横浜国立大学名誉教授)

16:45 閉会

【プロフィール】

1948年生まれ。横浜国立大学名誉教授。専攻は社会学、現代日本社会論。編著書に「問題」としての青少年(大月書店)、『キーワードで読む現代日本社会』(旬報社)、『シャカイ系の想像力』(岩波書店)、『いい保育をつくるおとな同士の関係』(ちいさいなま社)、『く生きづらさ』の時代の保育哲学(ひとなる書房)、その他多数。

交流会 18:30~ 大阪市立西区民センター(地下鉄「西長堀」駅より徒歩3分)

主催 全国学童保育連絡協議会・大阪学童保育連絡協議会

後援 大阪府・大阪府教育委員会・大阪市・大阪市教育委員会・門真市・門真市教育委員会ほか

全国学童保育連絡協議会
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13
TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765
http://www2.biglobe.ne.jp/~Gakudou
mail: zgchrk@xui.biglobe.ne.jp
(1)フロッピーは、ホームページからダウンロードもできます)

全国学童保育連絡協議会/編集・発行

日本の学童 ほんく

働きながらの子育てと、学童保育の実践と運動に役立つ記事がいっぱい

月刊/定価340円